

第1回 ランチサービス (生活文化科)

ランチサービスとは、地域貢献や世代間交流の一環として墨俣町の一人暮らし高齢者の方に、生徒が考案した手作りのお弁当を年に2回お届けする活動です。福祉協力校として1987年から継続している伝統的な行事で、本年は32年目を迎えます。

5月16日(木)に食生活コースの生徒21人が、地域の食事サービスボランティアの方と一緒に「春彩さくら弁当」を作り、地域の福祉推進委員さんと配達しました。

今回は高齢者の方のご健康とご長寿を願って、鯖やそら豆、春キャベツなど旬の食材をふんだんに使い、良質なたんぱく質やカルシウム、食物繊維など高齢者の方に必要な栄養素を多く含む彩り豊かなお弁当に仕上げました。

〈実習の様子〉



しゅんさい 春彩さくら弁当



〈献立〉

干し椎茸と桜えびの炊き込みご飯
 鯖の西京焼き
 大葉と蓮根のつくね
 ししとうの素揚げ
 海老とそら豆のかき揚げ
 春キャベツロール
 洋風卵の花
 かぼちゃの煮物
 あさりと切干し大根の煮物
 塩糍の豆サラダ
 豆乳わらびもち

〈生徒の感想〉

- ・初めてランチサービスを体験しました。彩りよくおいしそうにでき上がり、達成感でいっぱいです。練習ではなかなか上手いかなかったことも、グループで協力して、本番では上手くできて良かったです。高齢者の方に直接、お弁当をお渡しして、「ありがとう。」といただき、嬉しかったです。
- ・献立を一から考え、高齢者の方に召し上がっていただき、喜んでいただけたことに、やりがいを感じました。秋のランチサービスも、21人で協力して美味しいお弁当を作れるように頑張りたいです。

